

2025年12月22日

## 関西国際空港

## 2025-26年年末年始期間中の国際線旅客数予想

2025-26年年末年始期間中（2025年12月26日（金）～2026年1月4日（日）、計10日間）の関西国際空港における国際線旅客数予想\*についてお知らせいたします。

\*国際線旅客数予想は日本人旅客数と外国人旅客数の合計値です。

- 期間中の国際線旅客数は、734,800人（期間平均：73,480人）を見込んでいます。  
(※2024-25年年末年始期間実績（10日間）：764,930人（期間平均：76,490人）)
- 期間中の国際線出発のピークは12月28日（日）の41,800人、国際線到着のピークは1月4日（日）の41,600人を見込んでいます。  
(※2024-25年実績 出発ピーク：12月27日（金）43,340人 到着ピーク：1月5日（日）40,640人)
- 期間中の平均では2024年度比96%となり、方面別では韓国、東南アジア、中国を上位3方面と見込んでいます。

## &lt;2025-26年年末年始期間中の国際線旅客数予想&gt;

	旅客数	期間平均	期間平均 2024年比
出発	383,100人	38,310人	95%
到着	351,700人	35,170人	98%
合計	734,800人	73,480人	96%

\* 2024-25年年末年始期間は2024年12月27日（金）から2025年1月5日（日）の計10日間

## &lt;出到着ピーク日予想&gt;

	出発		到着	
第1位	12月28日（日）	41,800人	1月4日（日）	41,600人
第2位	12月27日（土）	41,300人	1月3日（土）	40,900人
第3位	12月26日（金）	41,100人	1月2日（金）	40,300人

## &lt;期間中国際線出発旅客数上位3方面予想&gt;

	2025-26年（10日間）		2024-25年実績（10日間）	
第1位	韓国	119,000人(113%)	中国	106,800人
第2位	東南アジア	73,800人(114%)	韓国	105,360人
第3位	中国	68,400人(64%)	東南アジア	64,870人

\*2024-25年実績は大阪出入国在留管理局発表実績値を用いています。

\*上表の国際線出発旅客数は日本人出発旅客数と外国人出発旅客数の合計値です。

\*( )内の数値は期間平均2024-25年実績比です。

## 【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション

Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/)をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス株式会社 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約34,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14カ国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロ（スコープ1および2）にすることを目標に掲げ、ステークホルダーの取り組みをサポートするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近畿グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、NTT西日本株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

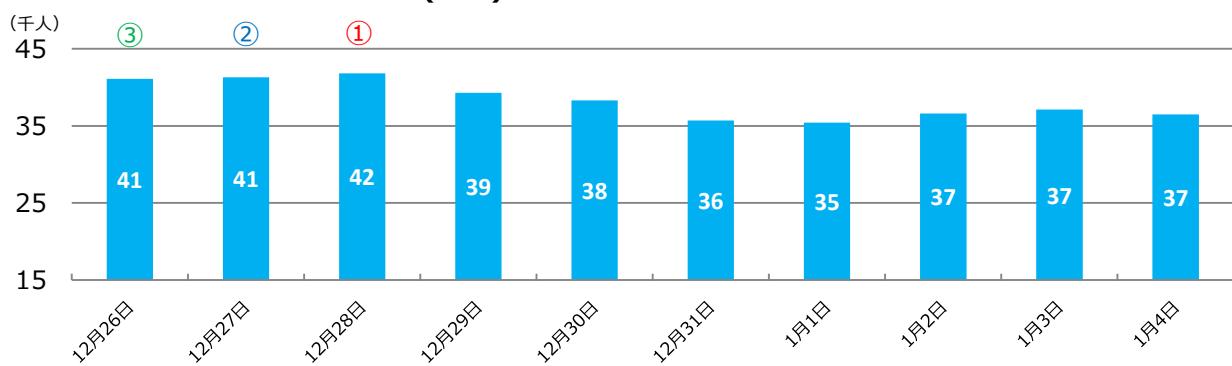
(別紙)

### 国際線日別旅客数予測

2025-26年 旅客数予測（10日間）				（参考）2024-25年 旅客数実績（10日間）				
		出発	到着			出発	到着	合計
12月26日	金	③ 41,100	34,600	75,700		12月27日	金	① 43,340
12月27日	土	② 41,300	36,600	③ 77,900		12月28日	土	42,550
12月28日	日	① 41,800	31,900	73,700		12月29日	日	② 43,200
12月29日	月	39,300	27,900	67,200		12月30日	月	③ 43,100
12月30日	火	38,300	30,600	68,900		12月31日	火	41,120
12月31日	水	35,700	32,200	67,900		1月1日	水	40,850
1月1日	木	35,400	35,100	70,500		1月2日	木	39,270
1月2日	金	36,600	③ 40,300	76,900		1月3日	金	35,620
1月3日	土	37,100	② 40,900	② 78,000		1月4日	土	② 39,880
1月4日	日	36,500	① 41,600	① 78,100		1月5日	日	① 40,640
合計		383,100	351,700	734,800		合計		② 79,510
期間平均		38,310	35,170	73,480		期間平均		76,490

①=第1ピーク ②=第2ピーク ③=第3ピーク ※2024-25年度実績は大阪出入国在留管理局発表の実績値を用いています。

(出発)国際線日別旅客数予測グラフ



(到着) 国際線日別旅客数予測グラフ

